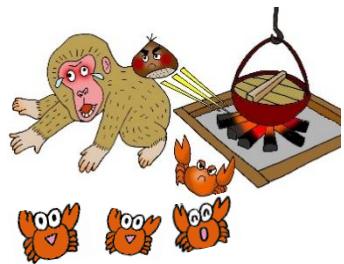




第3回もりメイトキッズ開催



開催日：2025年12月7日（晴れ）

参加人数：26名（8家族） 小学生4名 未就学児8名 保護者14名

スタッフ：16名



主なプログラム：萌芽、植樹した樹木を守る保護活動、焼き芋焼きおにぎり体験、火消しレクチャー、ホダ木の本伏せ作業

開催当日は風邪が流行しており、参加予定者の中にも直前で風邪をひきキャンセルが出て8家族が参加。晴天で穏やかな気候の中、プログラムが開催されました。

今回のむかし話は「さるがに合戦」。ペープサートとサル吉役の升本さんが渾身の演技を見せてくださいました。母力二が柿のタネから木を育てるところで植物を育む気持ちを説き、サルが柿を独り占めすることにおいては、独占欲は罪、また可哀そうな力二の話を聞いた仲間（蜂、臼、クリ、糞）



見事な演技！さる役の升本さん。



太い木を倒しました。



どんぐりができますように。

が協力してサルを懲らしめる場面は、仲間としての団結力と自然に対する冒涜はしっぺ返しがくる等、物語を用いて伝えたいことを劇中で表現し、今回のテーマ「みんなの力で植物の保護活動」「整備した木で焚火（資源循環）」「火を利用して食物を焼く（森の恵み）」をプログラムとして行いました。

植物保護として、以前植樹したマツやコバノミツバツツジの周辺を6歳以上小学生のキッズが整備、太めの常緑樹などを一生懸命に倒し、陽が差し込むフィールドとなりました。また5歳以下のキッズは萌芽しているコナラを除伐し、大きく育ってどんぐりの実を付けることを願いながら作業を行いました。

楽しみな焼き芋は、サツマイモを新聞紙に包んで水に浸し、よく絞ってからアルミホイルで巻きました。食事班が薪を焚いて出来た灰の中にそ~っと入れ、約1時間かけ柔らかくて美味しい焼き芋が出来上がりました。また、火は暖かく料理等に利用でき便利ではあるけど、扱い方を間違えると大変なことになることも参加者に知っておいて



おいも新聞紙でくるり

おいしくなれ！やさしいも



「ホダ木」をはこびました。



けむりが目にしめる

もらいたいスタッフの切なる願いで、焼き芋を投入した灰の中から種火を取り出して水に漬けるなど火の消し方のレクチャーも行いました。午後からは、春先に菌打ちしたシイタケのホダ木の本伏せ作業を、参加者に手伝ってもらい終えることができました。今秋からたくさんシイタケが生えてく

ることを樂しみにしています。



おつかれさま。ホダ木の前に集合

最初はつたない手つきの初ノコギリ体験のキッズ。少しずつ上手に使えるようになり「今度はアレを切りたい！」と太い幹にチャレンジしていく姿を見て、自分ももっと技術を磨いて頑張ろうと勇気をもらいました。（スタッフ：高田）



※高田さんが、おいしいお米を提供してくださいました。
ありがとうございました。